

### 補正予算

今回の一般会計補正予算は、林道の改良と山村振興対策に三百八十五万円、日足トンネル完成記念碑建設に二百九十一万七千円、野口清掃センターの焼却炉修理に二百四十四万九千円、広久保中継局設置の負担金に百五十二万七千円、稲荷町公民館建設の補助金に百二十万円、日光小学校と市庁舎の建設基金積み立て金に一億八千万円、財政調整と土地開発の基金積み立て金として一千二百二十九万九千円などでした。

特別会計の国民健康保険は、療養給付費などの補正でした。カッコ内は、補正後の予算総額です。

●昭和五十二年一般会計  
一億三千四百四十二万四千円(三十七億三千四百八十二万一千円)  
●昭和五十二年特別会計国民健康

康保険費  
三千五百八十八万一千円(五億八千九百七十七万七千円)  
●昭和五十二年特別会計ユースホステル事業費  
七十九万九千円(一千八百八十二万五千円)  
●昭和五十二年特別会計小来川診療所費  
二百六十六万二千円(二千五百九十二万四千円)

●昭和三十三年度の一般会計・特別会計・企業会計の各予算は、原案どおり可決されました。各予算額は二ページの予算規模、款別の比較は三ページのとおりです。

●市道路線の認定  
日足トンネルが三月三十日に開通したことにより、国道一二二号

●昭和三十三年度第一回市議会定例会における、請願と陳情の審査結果は、次のとおりです。

●採択された陳情  
○日光線にS.L誘致に関する陳情  
○排水路(細尾町三七一)整備に関する陳情  
○継続審査になった請願と陳情  
○保育所設置に関する請願  
○公会堂(中宮祠地区)建設に関する請願  
○児童公園(元山久保小跡地)の速やかな設置を求める陳情  
○保育所新設反対に関する陳情

●木材需給および価格安定に関する意見書  
外材の過剰な輸入により、木材の需給と価格が不安定なため、林業者は大きな影響をうけている。木材の需給と価格の安定を保つため、①全国的視野にたった木材需給計画を立てる ②木材需給調整委員会を設置する ③外材輸入は一元輸入機関を設け、調整を実施する。

## 文化観光施設税を五年間延長

### 第二回市議会臨時会

#### 専決処分

●昭和三十三年度日光市一般会計補正予算  
特別地方交付税と市債が確定したので、一千三百九十九万四千円を追加しました。これで昨年度の歳入歳出総額は、三十七億四千八百

七十二万五千円になりました。  
●日光市市税条例の一部改正  
地方税法の一部が改正されたので、市税条例のうち、関係する条項を一部改めました。  
①個人市民税均等割の非課税限度額を、十二万円から十五万円に

引き上げました。  
②今まで法人市民税の均等割税率は、年額十三万四千円、四万円、一万三千円の三段階に分けていたのを、百万円、五十六万円、十三万四千円、四万円、一万三千円の五段階に改めました。  
●日光市文化観光施設税  
文化観光施設税が五年間延長になりました。税率は、文化財の観賞者一人につき二十円(教員の引

率によらない生徒は十五円)です。  
●昭和三十三年度日光市一般会計  
今回の補正は、道路の改良舗装に四千五百二十一万円、橋りょう架け替えに二千四百万円、駐車場整備に一千四百四十万円などが主なものでした。歳入歳出に九千六百八十九万円を追加し、今年度一般会計の予算総額は四十一億八千二百八十九万九千円になりました。

### 意見書

●同和对策事業特別措置法延長等に関する意見書  
同和对策事業の推進は、同和对策事業特別措置法により同和問題の根本的解消を目指して努力しているが、期限内の事業達成は困難である。政府は、同和对策事業特別措置法の期限を延長するよう要望する。

●交通四法案の制定促進に関する意見書  
最近の著しい経済発展は、輸送

需要の拡大を引き起こしているが、一方、地方交通事業をめぐる社会情勢は大きく変化している。自家用車の普及、農山村地域での不採算路線の拡大などによる輸送需要の減少のため、中小民営交通事業の経営を圧迫する要因が増加している。政府は、公共輸送機関の維持確保と経営の健全化を図るため、①地方陸上交通事業維持整備の臨時措置 ②中小民営交通事業者の経営基盤を強化する臨時措置 ③中小民営交通事業金融公庫制度の創設 ④地方交通事業の公共割り引きを国庫負担で措置するなどの立法化を行うよう要望する。

などの意見書を全員一致で可決し、内閣総理大臣をはじめ各関係機関に提出し、衆・参両院議長には陳情書を提出しました。